基本方針Ⅲ	施策1　将来を見据えた多様な学びの環境を整備する

重点事業27	新たな学校づくりの推進	所管課	新たな学校づくり推進課・施設課
目的	・学校を取り巻く環境変化に柔軟に対応しながら、町田に生まれ育つ未来の子どもたちが夢や志をもち、未来を切り拓くために必要な資質・能力を育むことができる環境を創出するため、また、大人もともに学び、ともに育つ場をつくるため、新たな学校づくりを推進します。		
事業概要	●町田市における適正規模（1学年あたりの望ましい学級数）の考え方に基づき、小学校で3から4学級、中学校で4から6学級となるよう、通学区域の見直しや学校の統合を進めます。 ●協働的な学習の推進や ICT 教育への対応など、刻々と変化している教育環境に、柔軟に対応できる学校施設を整備します。 ●学校施設の管理・運営などに民間活力の導入を進めることで、教員が教育活動に専念できる体制づくりを推進します。 ●学校を、大人も子どもも学ぶことができる地域の活動拠点にします。 ●新たな学校づくりを、学校・保護者・地域の方々とともに進めていくため、「新たな学校づくり基本計画検討会」や「新たな学校づくり基本計画推進協議会」を設置し、学校の統合や新校舎の開校に向けた検討を行います。		

活動指標と工程表

活動指標	現状 2022年度	工程表 2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
②新たな学校づくり基本計画推進協議会の開催地区数		基本計画推進協議会の開催				
指標の達成状況 ▶	5 地区	5 地区	5 地区	5 地区	5 地区	5 地区

社会環境の変化等の背景	児童・生徒数の将来推計や施設整備費の高騰など「新たな学校づくり推進計画」及び「学校施設個別施設計画（学校整備計画編）」策定以降に起きた環境変化を踏まえて、新たな学校づくり推進計画の施設整備時期の一部修正を検討しました。 その結果、児童・生徒数の減少スピードが当初の見込みよりもさらに加速し、単学級化・小規模校化する学校を優先的に対応するため、2024年度に実施した躯体調査の結果を踏まえ、計画を一部修正します。
今後の取組の方向性	①「薬師・金井中地区」においては、2025年度に基本計画検討会を設置し、2026年度に推進協議会を設置します。 ②「小山田地区」「町三・山崎中地区」「南第三・南第四小地区」においては、2026年度にに基本計画検討会を設置し、2027年度に推進協議会を設置します。 ③「町六・高ヶ坂小地区」においては、2027年度に基本計画検討会を設置し、2028年度に推進協議会を設置します。 ④①②③から、工程表「指標の達成状況」が、2026年度は6地区、2027年度は9地区、2028年度は8地区となります。

修正後の内容

活動指標	現状 2022年度	工程表 2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
②新たな学校づくり基本計画推進協議会の開催地区数		基本計画推進協議会の開催				
指標の達成状況 ▶	5 地区	5 地区	5 地区	6 地区	9 地区	8 地区